

待合室を医療資源として再活用することを提言します

シンポジウム『待合室から医療を変えよう!』
アンケート回答

2013年3月24日(日) 13:00~16:50

東京大学本郷キャンパス 情報学環・福武ホールB2

「福武ラーニングシアター」

主催医療政策実践コミュニティ(H-PAC)

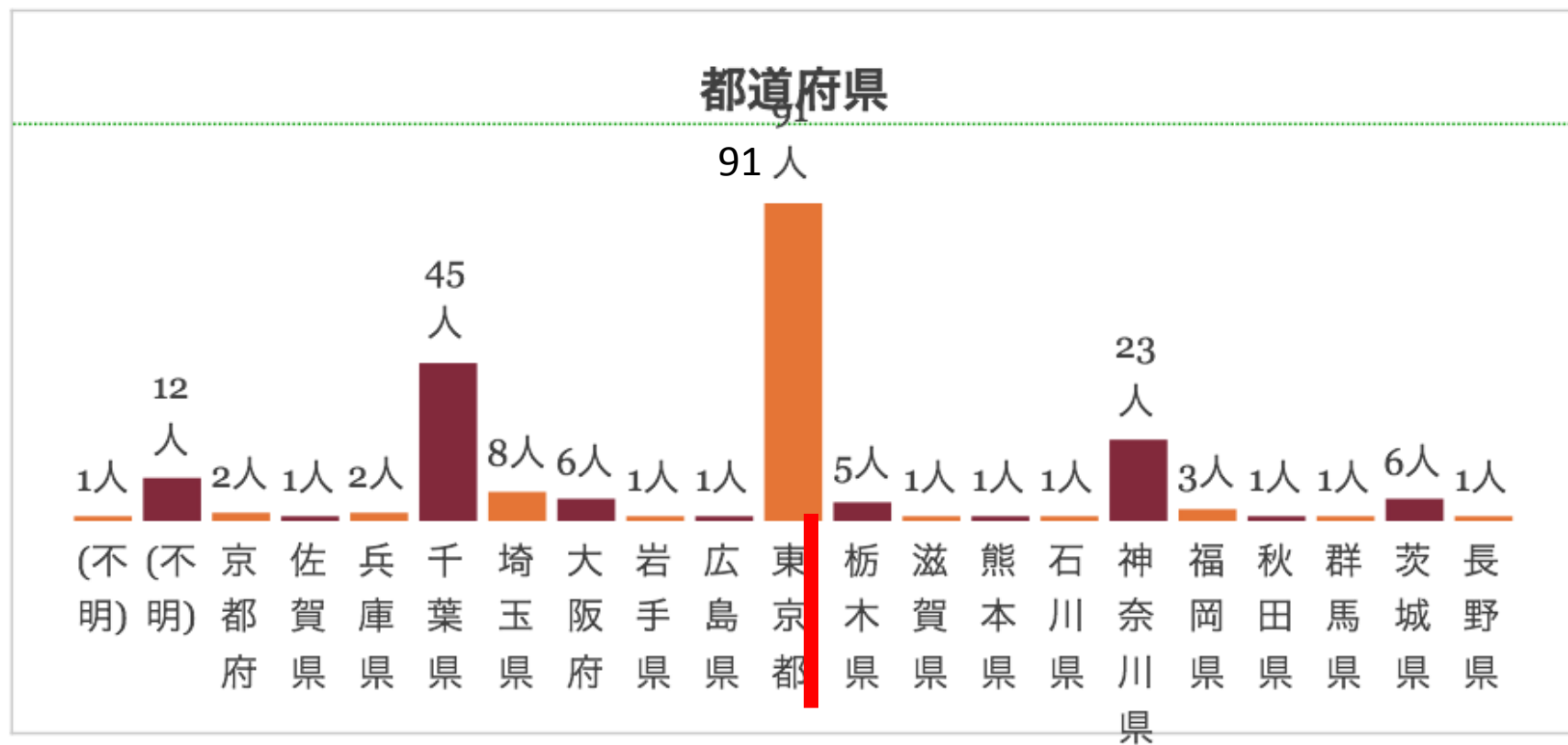
『待合室から医療を変えようプロジェクト』

回答者46名

回答用URL<http://start.cubequery.jp/ans-009075f6>

イベント申込者属性

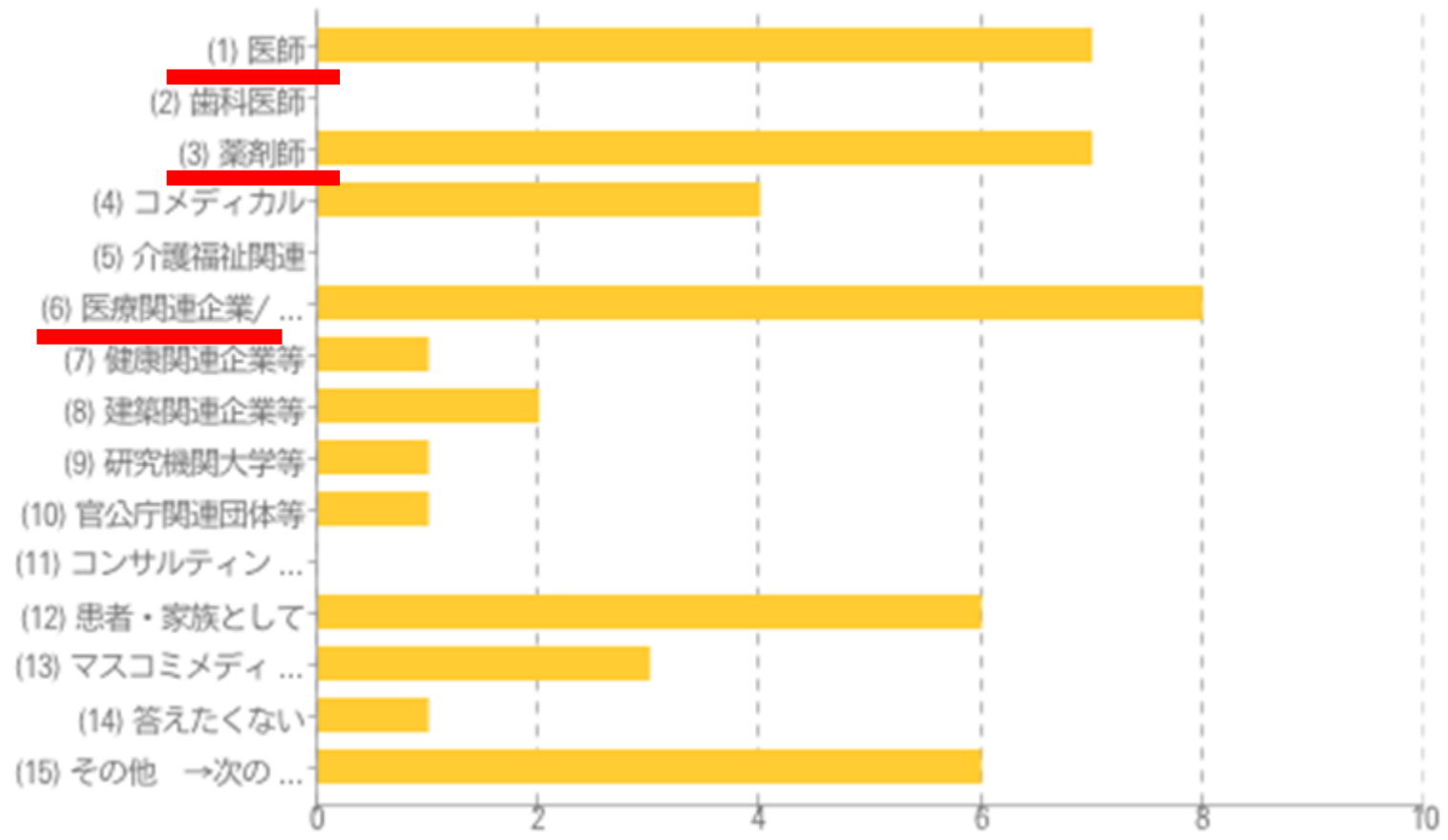
イベント参加希望者 = **213人**



設問 1 (所属)

貴方の職業・お勤め先・所属先を教えてください?

所属

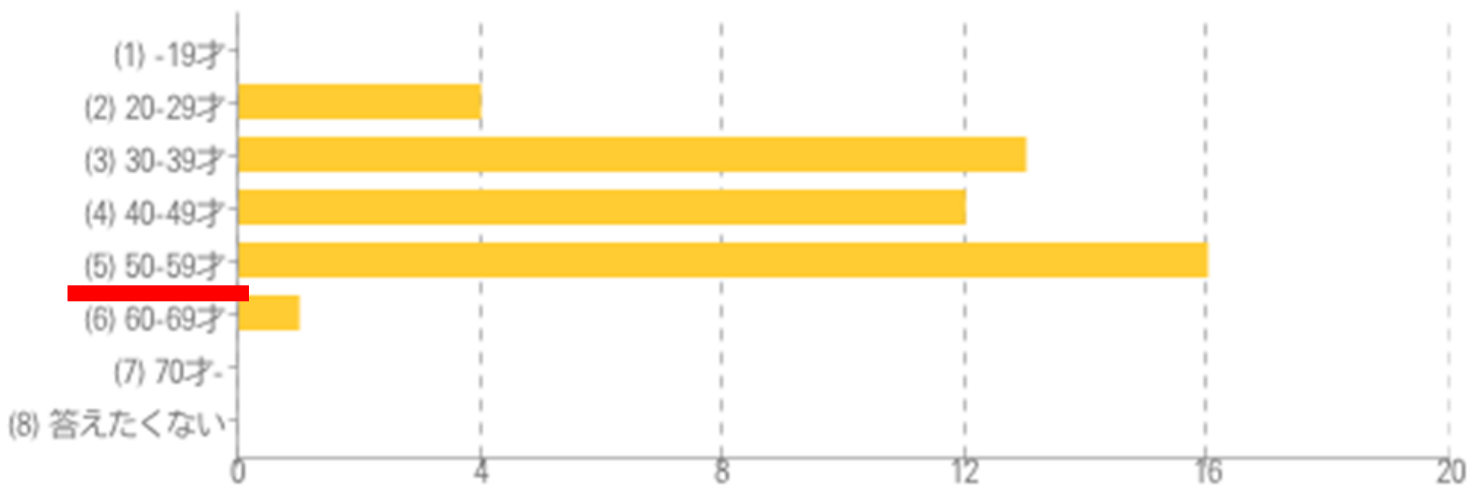


設問 2 (設問1<所属>の答えが「その他」の方へ)

- ・ 医療医薬品広告代理店
- ・ 地域医療振興協会 石岡第一病院 看護師
- ・ 医療空間設計・コンサル(病院用家具企画)大手家具メーカーから独立
- ・ 株式会社スマートリンクネットワーク
- ・ 千葉県立東金病院
- ・ 病院事務職(SE)
- ・ クリニック
- ・ 順天堂大学
- ・ 看護師

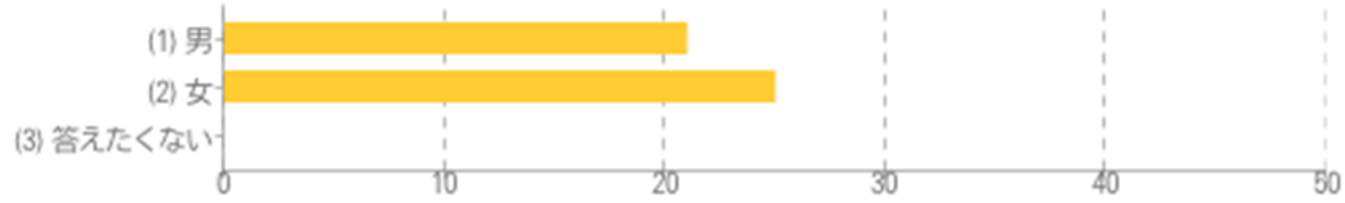
設問 3 (年齢)
以下からお選びください

年齢



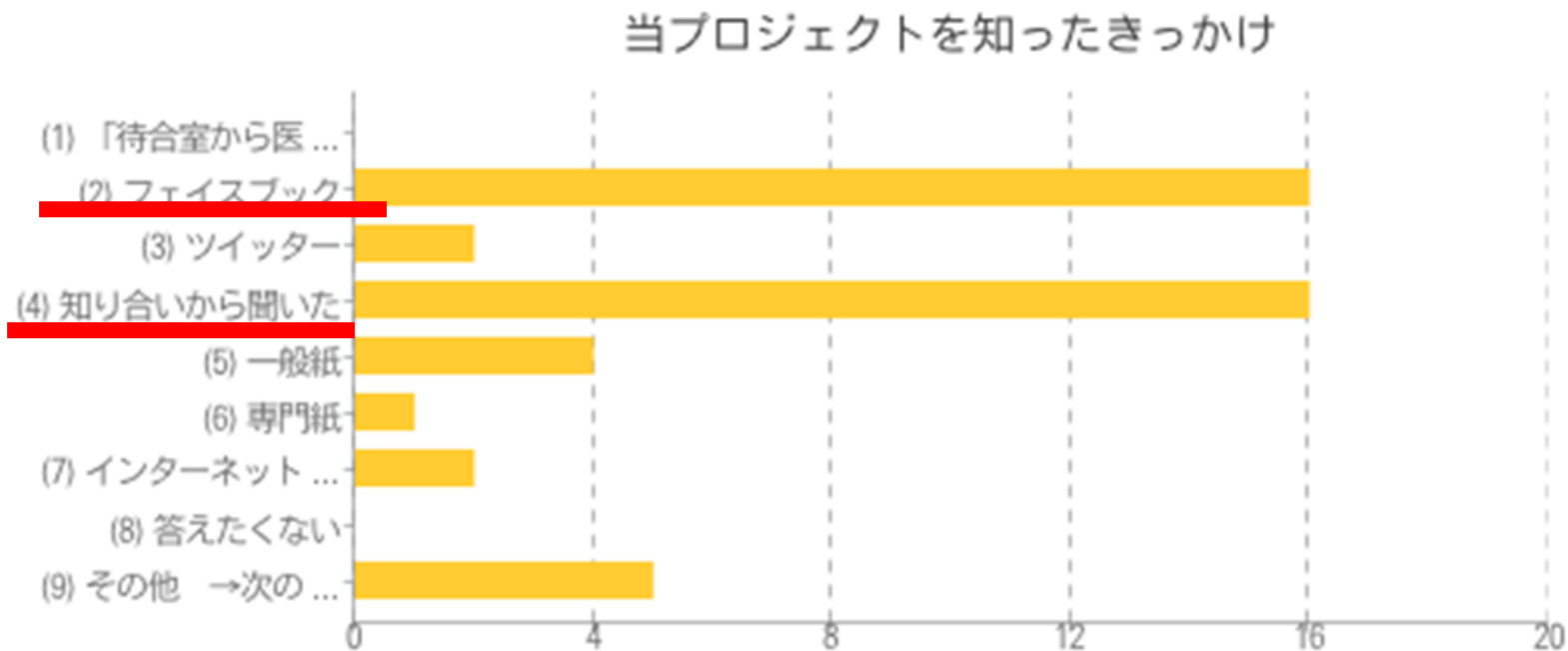
設問 4 (性別)
選んでください

性別



設問 5 (当プロジェクトを知ったきっかけ)

この「待合室から医療を変えよう」プロジェクトを何から知りましたか？



設問 6 (設問5<きっかけ>の答えが「その他」の方へ)

宜しければ具体的なきっかけをお書き下さい(他の方は設問6へお願いします)

- ダイレクトメール
- 講演者からの紹介
- 東金院長
- 小児科のML
- 知り合いからの誘い
- 外来看護師長からの案内

設問 7 (3月24日シンポへの質問)

講演会出演者への質問や要望があれば、お書き下さい。頂いたご意見は本人へお伝えします。
当日は進行の都合上、皆様から質問をお受けする時間が取れない可能性があります 1/2

•特に現時点では質問はない

•最近ホスピタルストリートなるものが、病院の設計上多くなっておりますが、設計者の方は具体的なイメージ無しに設計図面に記載している様な気がしてなりません。実際に私が設計、レイアウトする際にヒアリングしても、病院側にもイメージが無いのです。何か提案してくださいとしか・・・!まさにここが、情報の発信源であり、コミュニケーションの場なのではないでしょうか。しかしながら、これと言った具体策がないので、事例等あればご紹介ください。早速設計に役立てたいと思います。(写真や絵画、季節の展示、グランドピアノやコンサートにも使える、掲示板等では無い、もっとコンセプトがあり訴求しやすい空間) よろしくお願い致します。HTさまより

•主催者の方にご質問です。

『待合室を医療資源として再活用』と言う理念は素晴らしいと思います。

ですが、それをどうやって広めて行くのでしょうか?

広めたとして、それが浸透して行くのでしょうか?

当日参加の200名が、宣伝をするのでしょうか?

理念は素晴らしいと思いますが、実現可能なのかどうか、全国の医療機関(診療所だけなのか?病院もなのか?)がこの企画に賛同してくれるのか、どのくらいの期間でこの計画をどこまで広めるのか、その辺りが良く分からないので、教えていただけるとありがたいです。

設問 7 (3月24日シンポへの質問)

講演会出演者への質問や要望があれば、お書き下さい。頂いたご意見は本人へお伝えします。
当日は進行の都合上、皆様から質問をお受けする時間が取れない可能性があります 2/2

•待合室といえば診察後の薬局もあります。薬局まで含めたサポート、薬局・薬剤師の参画、役割などは現時点で、このプロジェクトの中には入らないのでしょうか。想定されていないのか、段階的でそのあとの対応でいいからなのかを教えてください。

•岡本先生に。

最近、設計段階からアートを取り入れて空間作りをしていく病院が増えてきました。私はアートが病気回復の手助けが出来ると信じていますが、今どのような考え方で設計が多いのでしょうか。どうあるべきか、お考えがありますでしょうか。

また、建築設計について、出来れば病院レベルだけでなく、クリニックレベルでもお話し頂けると有難いです。

•特にありません

•特にありません。

設問 8 (待合室の可能性・課題)

可能性や課題、問題点に関してご意見を教えてください。 1/5

- ・患者どうしの情報発信の場として、掲示板とかチラシ置き場といったものが欲しいですが、取捨選択の基準づくりに課題があるように思います。
- ・予約枠より多く患者をみようとする。
- ・逆紹介を充実しないと無理ではないか。
- ・患者さんへの疾患情報提供の良い場となるとともに、待ち時間が長いなど、患者さんの不満を生み出しやすい場でもあり、改善点の多い場ですが、待合室を通じた1つのプロジェクトが立ち上がることにより初めてできることもあると考え、大いに期待しております。
- ・今迄の待合室の概念をかえることで、医療機関は行きたい場所、すごしたい空間になると思う、そのような空間をデザインすることが、より良い医療につながる
- ・課題は待合室のwifi化を広く普及させるための施策。
- ・時間の予約をしても待たされる。リラックスできる音楽をかけてほしい
- ・ホテルのラウンジのような待合、チャイルドコーナーのある待合など設計してきましたが、ハードとソフトをうまく組み合わせた待合室を考えたい

設問 8 (待合室の可能性・課題)

可能性や課題、問題点に関してご意見を教えてください。 2/5

・限られた空間で、幅広い年齢層に、くつろぎと安らぎを感じられる時間を持っていただけのような場所=待合室であつたらいいと思います。

・患者の症状にあつた待合室を要望します。

■可能性 ・国公立病院のロビーは地域にある公民館等に匹敵する大空間だと思っています。この空間の有効利用をどうして行くべきか?まさに今回のプロジェクトだと思っています。

■課題

・大きな課題は、病人と健常者が同居すると言う所にあります。

マクロな視点で捉えたら都会の真ん中でも2者が同居している訳ですが、あまり気づきませんよね。その要素を院内にどうやって取り入れるかが、課題だと思っています。

・地域との関係構築のための場にするためには?

健康リソースを提供する場。

居心地を良くするためには?

世代による住み分けをどうするか?

設問 8 (待合室の可能性・課題)

可能性や課題、問題点に関してご意見を教えてください。 3/5

•問題点

意識の高い患者には通じるとは思いますが、待合室を医療資源だと思わない患者には、伝わらないのではないのでしょうか？

患者に『待合室は医療資源』と言う概念を持たせるにはどうすれば？

•地域との関係構築のための場にするためには？

健康リソースを提供する場。

居心地を良くするためには？

世代による住み分けをどうするか？

•待ち時間をいかに短くするか、長い待ち時間を患者さまに有効に活用いただくにはどうすればいいか？

•7にも書きましたが、アートを取り入れる事で回復への手助けが出来る大事なスペースになり得ると思っています。そういう空間作りがまずは大事かと。

•通院中の診療科の待合室のついて。外科部長の交代をきっかけに、治療している病気のイメージカラーを多用するようになり、ストレスを感じている。患者が長い時間を過ごす場所なのだから、患者の意見を反映してもらえたらいいのに、と思いました。

設問 8 (待合室の可能性・課題)

可能性や課題、問題点に関してご意見を教えてください。 4/5

•薬局に関してのお話ですが、最近は大手調剤チェーンを中心に患者さんが快適に待ち時間を過ごせるよう様々な工夫をしていますが、まだまだ薬局の待合室というのは我々スタッフ側があまり関心を持っていない部分だと感じています。

まずは自分の部屋のインテリアを工夫する感覚で、患者さんがリラックスできる空間づくり。薬だけにとどまらず、子育て、栄養などの情報提供、イベントの開催などを通じて地域の方々のコミュニティースペースとなるなどの可能性があると考えています。

•待合室での時間が、広義の診療になるような工夫は。
一方的な医学情報伝達のみでは寂しい。気持ちを落ち着かせる雰囲気してほしい。

•特にありません。

•不安に思っている患者さんが、リラックス、安心できるのは大切、自分もホテルのロビーをイメージして作りました。他の先生の工夫をみたいです。

•約200床の病院の建替えを計画しています。患者さんおよびご家族にとっても、働く者にとっても、親切な魅力ある待合室にしたいなと思っています。

•予約制であるが待ち時間が長いと患者がからの意見がある

設問 8 (待合室の可能性・課題)

可能性や課題、問題点に関してご意見を教えてください。 5/5

- 待ち合い室には、たくさんの方が不安や痛みを抱えて待たれている。そんな方々にこちらから歩み寄り話しや、症状を把握して中には、受傷度が高くてもしっと我慢なされている方もいるかもしれない多くの意味で早期発見し、より良い外来へ繋いで欲しい

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 1/7

・数年前に、医療者の集まるあるセミナーで、患者として院内サロンに対する夢を語りました。その内容は、「本が読めて、コーヒーが飲めて、患者同士で語らえる場、そして、コンシェルジュのような立場の人がいて、患者の質問や要望を整理してくれる場がほしい。そのコンシェルジュには、ぜひ患者の力の活用を」といったものでした。今回のシンポジウムのプログラムを見て、私の思い描いたものとても符合しているものが多く、夢は確実に現実に近づいていると少なからず驚きました。どんな形のものが提案されるのか、とても楽しみにしています。

・建築にも興味があるため

最小限のコストで、良い対策を伺いたい。

・プロジェクトに加わり、仕事を通じて患者さんの医療環境向上に携わっていきたいと考えております。

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 2/7

- 他の方々が考える待合室が、どんなものであるか興味があり、また共感できる場所があったら、是非、今後の待合室造りに活かしてみたいと思っています。
- 現在ある病院で、医療市民マイスターとして、活動しております。患者さまからは、待合時間が長いとの話を伺う事が多いので、この時間を有効に使うヒントを探しに、参加予定です。
- 現在、私が病院を設計する上で1番悩んでいる事と一致したので特に関心を持たせて頂きました。病院の空間やそこに設置される家具は明確なコンセプトを打ち出せるのですが、ロビーだけは、ありきたりなコンセプトになってしまいがちです。もちろん患者さんの為の待ち時間の短縮や、動線による家具配置などありますが、地域密着とは、ほど遠いものですよね。その辺も最低限考えないといけないと思い、何か私の中でのキッカケ(ひらめき)が出できれば良いな、と感じたので参加させていただきました。 以上
- 参加される方の意識やコンセプトを理解したい。
- 友人がこのプロジェクトへ関与しているため。また、自分の通院先の科が院内で引越しをすることになり、主治医より患者としての意見を求められる機会が増え、何か参考になる話が聞ければと、参加することにしました。

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 3/7

- より待合室を心地よい場にしたいため。
- 実際、どういうコミュニケーションが考えられるのか。本当に医師はそうしたことを必要としてるのかを知りたい。
- 診察待ち時間が長く、患者さまに精神的苦痛を与えることを解消したい
- 思い込みというか今までの経験則を超えた視点、取り組み、可能性を体験したい。お待たせすることを前提に、苦痛を感じさせないためにはどうすればいいかという視点で試行錯誤してきた。戦略として待合室を利用するという自分にとって新しい発想の表現形を是非体験したい。よろしく願いいたします。

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 4/7

・今、「現代アートで子どもたちを元気に!」と掲げて診察室、待合室に作品を展示しています。その一部として待合室の改装を計画中で、その参考になればと思い参加しようと思いました。築50年近くになると、天井も低く、明るくするだけでも大変ですが。。

待合室の空間は、子どもたちを元気にする意味では大変大事だと思っていますし、アートを設置する空間としても大事だと思っていますので建築設計について楽しみにしています。

・近年、医療の周辺ではほんの十数年前までは考えられなかったような数々のユニークな取り組みや経済活動が行われていると思います。企業活動を通じて医療に携わっているものとして、今後のトレンドや方向性のヒントを得られれば、と思っています。

・待合室次第で待ち時間がより長く感じられたり、短く感じたりする事があるのではないかと思いました。

・薬局の待合室の改善を少しずつ進めている中、このプロジェクトのツイッターアカウントにフォローしていただき興味を持ちました。具体的な参考例がまだまだ少なく、手さぐり状態ですので御講演いただく皆様の具体例やこれからの展望などすべて吸収したいと思います。

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 5/7

■ 今後の医療環境の変化に伴う待合の変化

■ 災害対策の方向性

を知るヒントになればと思って参加させていただきます。

• 友人が企画したので

• 自分の知らない事なら何でも吸収したい。

• なぜか今は答えたくない感じです。

• 医療を患者目線で考える企画が面白いと思った。

• 音楽教師をしていて鑑賞の授業では音楽療法も学習させるためです。当日は講義をきくだけで質問はありません。よろしくお願いいたします。

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 6/7

- どんな待合室があり得るのか、できるだけ多くの情報、考え方を吸収して帰りたいと思います。
- 職種を超えて医療に関わりのある方々と連携して何かできないかと考えており、その可能性が見つけられるのではないかと思いました。とりあえず、お話を聞いてみたいと思いました。
- 待ち時間を患者の苦痛にしない手段を学びたいと思ったので参加した。
- 自身の権利を主張する患者、医療に対する意識を持つ機会のなかった患者に対しての教育の場の必要を感じています。今回のシンポジウムでそのようなことを吸収できればと思っております。
- 待合室には、患者さん達の本音が聞ける場
宝の言葉を見逃さない取り組みをどう実行なされて居るのかを学び
今後の外来診療や在宅に繋ぎ
より良い情報交換の場としたい
快適な待合室を勉強したく、参加させていただきます

設問 9 (ご参加の目的・理由)

このプロジェクトに関心をもたれた目的・理由、吸収したいコトを何でも教えてください。 7/7

・自分の勤める薬局では、利用者の方に来局のたびに毎回何か感動を一つもって帰ってもらうという心で仕事をしています。その心の表現として、五年前から待合室を色々なテーマをもって演出しています。感動することで、元気にもなるし生命力が高まります。心地よく過ごしてもらえる空間演出があることで、気軽に健康やお薬のことについて相談しやすいお店作りができるのではないかと思います。その活動を続けていた中で、このプロジェクトを知り、まさにこれだ!と思い参加申込をしました。

・「待合室」 X 「そこでの時間」を活用するための様々なアイデアを吸収したい

・病院を使う一市民として。

・病院を少しでも良くしようと考えていて、何かヒントが得られればと思い、、、、

以上